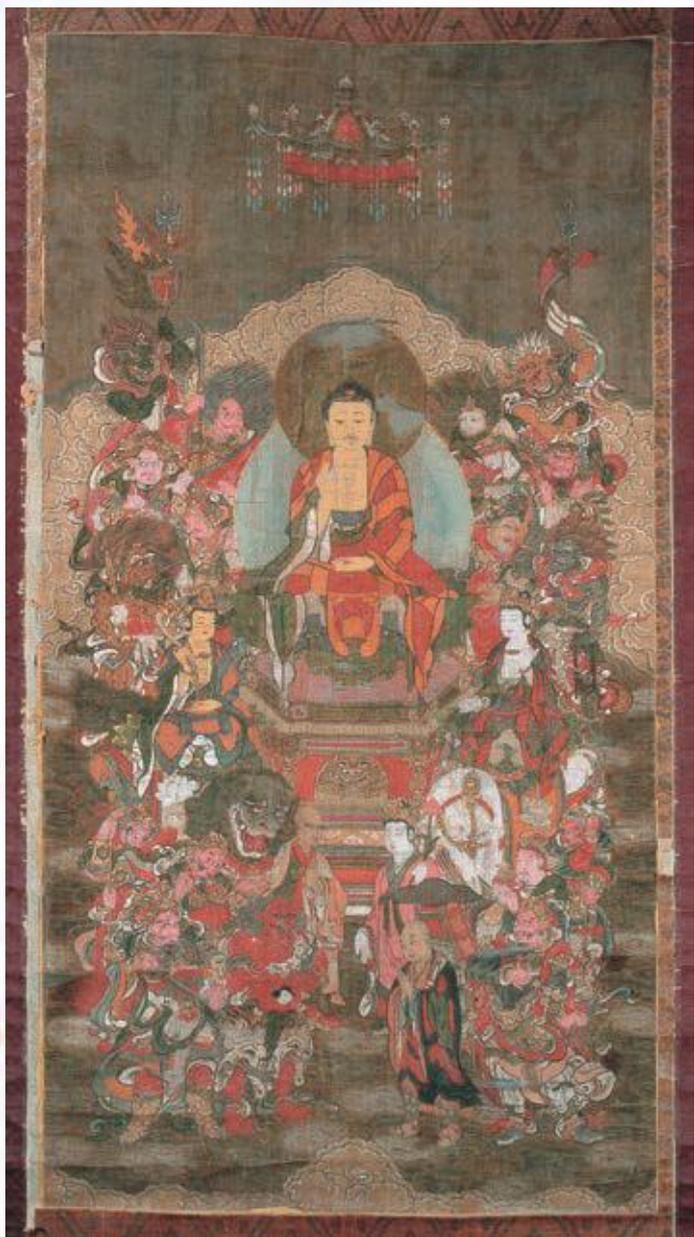


みはま

No
30

議会 だより

釈迦十六善神像(長久寺)



地藏菩薩立像(久昌寺)

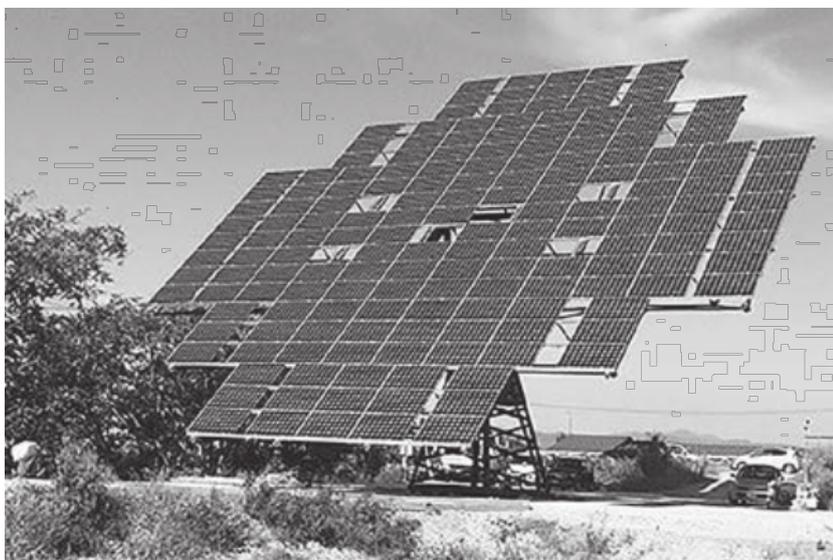


美浜町文化財シリーズ③	1
6月定例会	2~3
常任委員会の動き	4~6
一般質問	7~9
各委員会・協議会・組合議会報告	10~14
議会と語ろう会	15
知っ得議会シリーズ⑤	15
小学校体育大会、編集後記	16

福井県美浜町議会

6月定例会（6月7日～20日）

6月定例会が、7日から20日までの14日間の会期で開催されました。平成29年度一般会計補正予算及び特別会計補正予算並びに条例改正を決議しました。また、農業委員会の委員を承認しました。



追尾式太陽光発電設備 (イメージ)



改修する小倉団地 1・2号棟

農業委員会委員一覧

氏名	住所	
中村 博昭	松原	認定農業者
浅妻 孝彦	大藪	認定農業者
馬野 弥裕	佐野	認定農業者
佐竹 成雄	山上	認定農業者
松下 勝美	久々子	認定農業者
八木 和夫	郷市	兼業農家
大野 克弥	木野	認定農業者
奥井喜代栄	興道寺	認定農業者
軍場 康代	興道寺	非農家
山口 哲男	太田	認定農業者
山本 文昭	竹波	兼業農家

29年度一般会計補正予算では、8億3570万円を増額し、補正後の額が83億3163万円となりました。主なものは、エネルギー環境教育体験館「きいばす」の追尾式太陽光発電設備整備（太陽光パネルが自動的に太陽の方向に向きを変える）、燃料電池レーシングカー購入費などに1億416万円、町営住宅改修費1億2160万円、そのほか、新庄

山里ゾーンの整備、庁舎改修事業、早瀬・日向地区の有害獣防止柵などを実施します。また、美浜町農業委員会の委員の任期満了に伴い、新しく農業委員11名を承認しました。そのほか、条例の改正、廃止が4件、請願及び陳情が各1件あり、総務文教、産業厚生それぞれの委員会

で審議しました。
(野瀬記)

平成 29 年度 一般会計 6 月補正予算概要

29 年度 一般会計補正予算 (6 月) 8 億 3,571 万円を可決 補正後予算総額 83 億 3,164 万円

◎ 歳出予算の内訳 (主要事項)

(単位: 万円)

款	主要事項	金額	事業概要等
総務費	庁舎改修事業	3,158	エコ空調設備導入に向けた調査業務委託料、 庁舎直流電源装置 (非常用蓄電池設備) 更新工事費 など
	エネルギー環境教育体験館 整備事業	10,417	追尾式太陽光発電設備設置工事費、卓上型油化装置・燃料電池 レーシングカート購入費 など
	太陽光発電検討調査事業	2,095	太陽光発電設備の設置による収益等を、企業誘致等へ活用する 仕組みや事業の有効性等の調査検討に係る経費
	環境基本計画実行計画策定事業	233	第二次美浜町環境基本計画の策定に伴い、町民・事業者・町が 具体的に取組む行動計画の策定業務委託料
	ふるさと創造プロジェクト事業	9,733	新庄山里ゾーンの整備に係る経費 ・古民家 (自然体験 / カフェ) 整備や食肉加工場整備に係る経費 に対する補助 など
	ボートコーチ誘致事業 (地方創生推進交付金事業)	280	海外のボートコーチ誘致に係る謝礼・渡航費用、指導用備品の 購入費 など
	美し美浜「インバウンド」雇用 創出プロジェクト事業 (地方創生推進交付金事業)	971	美し美浜もてなしプロジェクト業務委託料、台湾への出向宣伝 に係る経費
	地域ブランディング事業 (地方創生推進交付金事業)	868	地域の活性化、ブランド力強化などに係る業務委託料
	新規就農イベント出展事業 (地方創生推進交付金事業)	46	新規就農イベント (新・農業人フェア) 出展に係る経費
	発酵熟成文化情報発信事業 (地方創生推進交付金事業)	300	番組制作に係る企画提案など、マスメディアを利用した情報発 信業務委託料
移住・定住促進事業	225	中長期滞在者や県が実施する福井体験ツアーの受入、中長期滞 在プランの作成などを実施する協議会への補助	
民生費	生きがい活動支援通所事業	115	介護予防、健康教室のための運営委託料
衛生費	美しきはま虹彩食推進事業	77	町内で採れる野菜等を中心とした食材を使用したメニュー開発 やレシピ集の作成などに係る経費
	廃棄物処理広域化事業	1,314	一般廃棄物最終処分場整備 (基本計画・設計業務、測量調査、 物件補償調査等) に係る敦賀市に対する負担金
農林水 産業費	中山間地域農業総合対策支援事業	4,181	有害獣侵入防止柵設置工事費 (早瀬、日向地区)、パイプハウス・ 施設園芸補光用 LED 照明設備導入補助 など
	中山間地域広域営農組織参入基盤 整備事業	500	農地法面防草緑化工事費 (乙見地区)
	水産環境整備事業	793	藻場造成工事、モニタリング調査に係る負担金 (日向地区)
商工費	若狹美浜観光 PR 事業	383	フォトロゲイニングの開催に係る経費やへしこちゃんホログラ ムシールの増刷 など
土木費	町営住宅改修事業	12,146	小倉住宅 1・2 号棟屋根、外壁改修工事費 など
教育費	町民レガッタ事業	754	第 30 回美浜町民レガッタの開催 (平成 29 年 10 月開催予定) ・記念誌の発刊、モニュメントの設置など

●平成29年度美浜町一般会計補正予算
(第1号)

【総務費】

問 ふるさと創造プロジェクト事業及びエネルギー環境教育体験館は、地元業者に業務委託させるべきではないか。

答 いか。
地元業者を活用し、地域に恩恵がまわるようにしていきたい。

問 きいばすの追尾式太陽光発電設備の設置等は、管理費の負担増加にならないか。

答 電気代にして年間約240万円が減額になると試算している。維持費は約60万円を見込んでいる。固定式



新庄山里ゾーン整備 (松屋地区)

に比較して約1.7倍の発電量が得られるが、計算上は1.5倍と見積もっている。

問 地方創生費の事業が並んでいるが、行政が旗振りをしていくのか。

答 仕掛けを行政が行い、頑張る人の立ち上がりを期待している。良い例がふるさと納税の産品生産に現れている。

問 多年度計画になっている「ふるさと創造プロジェクト」の新庄山里ゾーンへの補助の経過と地元負担はどうなっているのか。

答 3年間で1.5億円の計画で、27年度はモミジン等のPR事業に320万円、28年度は登山道の整備と山開き等のイベントに1100万円、29年度は残りを当初予算に計上し、登山道の整備と古民家改修カフェ、ジビエ加工場等の設置を行う予定である。地元も約700万円から800万円を支出する。

問 太陽光発電の企業団地への設置はどのような考えなのか。

答 産業団地に隣接する調整池の上に設置できないか、等々の調査を実施していきたい。

【民生費】

問 児童養護施設整備事業負担金で白梅学園の美浜町の利用は何人か。

答 28年度2名、29年度3名です。

問 【衛生費】 美し美浜虹彩食推進事業の内容は。

答 地元の野菜や魚介類、特産品等の食材を活用して、レストランや民宿、一般家庭でも作れるメニューの開発や講習会等を実施する。

【農林水産費】

問 日向、早瀬に設置する有害獣侵入防止柵の内容はどういうものか。また、サル対策は可能なのか。

答 サルの対策は難しいので、集落で適正管理ができるなら、サル檻の設置も方法の1つである。今回の有害獣侵入防止柵は、岳山の「のり面」崩壊を防止し、山林を復活させるためのものである。

【商工費】

問 フォトリゲイニングの運営委託はどこにするのか。また、このイベントで、美浜町に利益はあるのか。

答 フォトリゲイニング協会に委託する。地元産品の販売、歩いて回るので、町内の店や観光スポットの立ち寄り、町のPR発信をしてみよう。
※フォトリゲイニングとは、地図をもとに、時間内にチェックポイントを回り、得点を集めるスポーツです。



昨年のフォトロゲイニングの受付状況

問 給食センター改修の必要性と内容は。

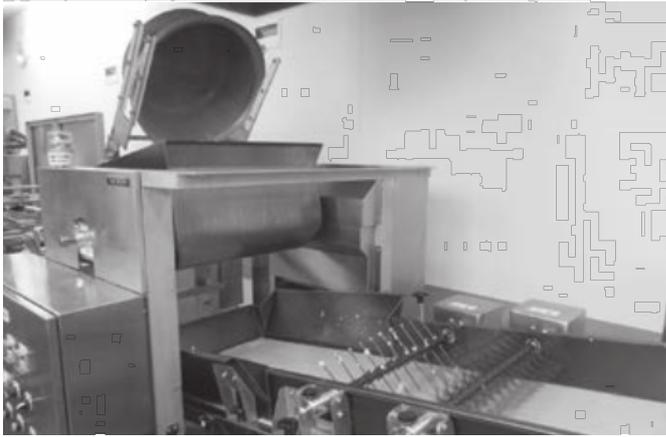
答 10年を経過して、キュービクル、給湯器、換気扇等が老朽化している。安全衛生の面から修繕する。

●平成29年度美浜町産業団地事業特別会計補正予算(第1号)

問 ケーブルテレビ伝送路を新設して、加入料はいただくのか。

答 加入料は負担していただく。

(山日記)



給食センター改修(ドライ式ピーラー)

総務文教
常任委員会

付託案件2件
請願書・意見書の審議

マイナンバーで幼児のインフルエンザ及び、おたふく風邪予防接種の情報共有

●美浜町個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について

〈改訂理由〉

行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号(マイナンバーカード)の利用等に関する法律の一部改正に伴い、特定個人情報の独自利用事務について関係規定を整備する必要があるため。

問 「提供先」が「提供先等」になっており、解釈の幅が広がり曖昧になったのではないか。

答 町がマイナンバーカードを積極的に活用することにより、住民の利用の幅が広がると理解している。

問 「情報照会者」、「情報提供者」とは誰のことか。

答 例えば、住民が敦賀市から美浜町へ転入した場合、その個人情報を知りたいときは、情報照会者が美浜町で、情報提供者が敦賀市ということになる。

問 児童や幼児のインフルエンザとおたふく風邪の予防接種費の助成に関する事務を独自利用事務として

いるが、今後、マイナンバーカードの利用促進をどう進めていくのか。

答 国では、コンビニ等において住民票の写しや印鑑登録証明書などの公的な証明を取得できるようにカード利用を促進していく方向である。

●美浜町放課後児童クラブ整備事業基金条例を廃止する条例の制定について

〈改訂理由〉

目的の西児童クラブと中央児童クラブの施設整備が完了したので当条例を廃止する。

問 今後、整備や改修の必要はないのか。

答 西児童クラブと中央児童クラブを整備する事業が完了したので廃止するが、放課後児童クラブの改修等が全て終わったわけではない。

●請願書審査

「日本政府に核兵器禁止条約の交渉会議に参加し、条約実現に努力するよう求める意見書」請願については、主旨は尊重出来るが、今後の国の動向を見守る事とし、不採択とした。

原子力行政の充実と強化を国に要望

●陳情書審査

「原子力行政の充実と強化を求める意見書」については、美浜町行政、議会の国への要望書と共通する内容であるとして、採択し発委して国に要望することとした。

【教育費】
問 町民レガッタの第30回記念メニューメント設置の概要は。
答 設計、製作はこれからである。ポートコースをバックに景色の良い場所を検討していく。

問 艇庫の防犯カメラの設置様式は。
答 管理事務所で24時間の監視が可能であり、2週間の録画もできる。

原子力行政の充実と強化を求める意見書

東日本大震災から約6年、福島第一原子力発電所事故により、国民の原子力に対する信頼は失墜し、現在もまだ原子力への信頼は回復せず、原子力発電所に代わり、老朽化した火力発電所の網渡り的な電力供給が続いています。エネルギーは、国民の生活・活動を支える基盤であり、経済の原動力です。原子力発電はその中で大きな役割を担ってきましたが、原子力規制委員会・規制庁のもとで現在稼働している原子力発電所はわずかに5基にすぎません。原子力規制委員会による原子力発電所の適合性審査は遅々として進んでおらず、地域経済を疲弊させるにとどまらず国家の経済成長にも大きな足かせになっています。このような状況は原子力に対する国民の理解にも影響し、原子力災害に関連するいじめ問題にまで暗い影を落していると考えます。原子力規制行政をなお一層充実させ、原子力に対する国民の理解を広く促しながら、明るい日本の未来を築いていくことが必要不可欠です。このため、政府に下記事項の実現を求めます。

記

1. 原子力発電所の停止により、化石燃料調達のため巨額の国富が国外に流出し、国民と産業界は電気料金の値上げによって大きな損失を強いられました。経済性や地球温暖化防止の観点からも、原子力発電なしにはわが国は成り立ちません。原子力発電の活用は緊急、最重要課題であり、政府は不撤退の覚悟であらゆる手段を尽くして、再稼働を促進すべきであり、原子力規制委員会も独善に陥ることなく、事業者及び地元の声聞きながら、適合性審査を加速すべきです。
2. エネルギー資源の乏しいわが国のエネルギー安全保障にとって、使用済み核燃料からプルトニウムを取り出して利用する核燃料サイクルを確立し、更に消費した量以上の燃料を生み出す高速増殖炉を実用化することは、重要な目標です。核燃料サイクル事業全般の尚一層の推進を図るべきです。

3. 原子力規制委員会の審査や検査において、審査基準や、合否判断基準に一貫性がない等、運用上規則や手続きに適正さを欠いている点が明らかになりました。規則や指針類の見直しが不可欠です。行政機関として守るべき行動規範（信義誠実の原則、比例原則など）、安全目標などを原子炉等規制法に盛り込む法改正を行うべきです。
4. 原子力規制委員会は発足以来、指針や規則類の整備が不十分のまま、規制行政を実施してきました。その結果、原子炉設置変更許可を受けた原子炉は12基に過ぎません。発足して5年目を迎える今年には、規制行政の刷新を行い、安全で、安定した、安価な電力を国民に提供できる体制を早急に整備すべきです。
5. 福島第一原子力発電所事故の影響により福島から他地域への避難せざるをえなかった人へのいじめ問題が日本の各所で社会問題化しています。その根底には日本がこれまで歩んできた国策としての原子力政策に対する国民の無理解があると考えます。政府と行政は一体となって国民に対するエネルギー環境教育等、根本的な対策を講じるべきです。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

平成29年6月20日

福井県美浜町議会

原子力行政の充実と強化を求める意見書

産業厚生
常任委員会

付託案件2件

レークセンター町が管理運営する

●美浜町レークセンターの設置及び管理に関する条例の全部を改正する条例の制定について

美浜町レークセンターの管理運営方法を見直したいため。

問 指定管理者で運営できないから町が施設管理の負担をしなければならぬ状況なのか。

答 船会社から施設の利用料をいただくことで運営が成り立っていた。

しかし、今年1月から利用料無しの状態が続く、今後の運営管理が困難になったため、条例を改定したい。

問 若狭美浜物産振興協会も撤退することになれば、条例第3条記載の「観光および地場産業の振興、観光情報発信および宣伝に関する業務」は町が実施していくのか。

答 観光のメインである遊覧船の運行がなければ、若狭美浜物産振興協会による飲食、物販をやれなくなる。

レークセンターが美浜町の観光情報発信基地として難しくなると推測されることから、しつかり考えていきたい。

問 第4条に「所長その他必要な職員を置く」とあるが、誰が所長になるのか。

答 当面は商工観光課長が兼務する。

●美浜町道川東29号線道路改良事業基金条例を廃止する条例の制定について
本道路が完成したのでこの基金条例を廃止するものです。
(竹仲記)

臨時議会

臨時議会が5月28日に行われました。福井県市町村総合事務組合の規約変更について、美浜町と敦賀市を除く嶺南市町で組織する、「若狭広域行政事務組合」が新たに加えられました。

また、美浜町税条例や美浜町国民健康保険税条例の改正についても承認したほか、若狭美浜インター産業団地及び山上住宅団地の28年度整備工事請負契約の変更について報告がありました。

契約の変更は、若狭美浜インター産業団地整備工事の第1工区・第2工区を合わせて、975万2400円増額し、2億3331万2400円になり、山上住宅団地は、466万5600円増額し、5456万1600円になりました。

美浜町税条例の改正は、地方税法の改正に伴うもので、住宅ローンの税額控除や軽自動車税の排出ガス等の区分に従う税の軽減措置の2年間延長、保険税の低所得者に対する基準額の引き上げなど、いずれも税の軽減に関する特例措置です。
(野瀬記)

一般質問

6月定例会では4人の議員が一般質問に立ち、町行政の有り方について、問いただきました。質問、返答については質問者の文責で掲載しております。



浜野 健治 議員

敦賀半島西海岸の5月イベントは大成功

問 5月初旬、敦賀半島西海岸ゾーンで実施されたイベント、わんぱくフェア、きいばすフェスタ、美浜・五木マラソンの成果をどのように評価しているのか。

町長 わんぱくフェアはゴールデンウィークに実施して10年を過ぎました。今回はきいばすフェスタと同時開催を計画し丹生公園で実施して成功したと考えている。今後のことは主催者側と協議していく。美浜・五木マラソンは来年30周年記念大会であるが、以後も続けたい。

商工観光課長 わんぱくフェアは今回2日間でありましたが、きいばすフェスタとの相乗効果もあり、1日6750人で昨年の1日4000人を大きく上回りました。会場広さ、駐車場とも問題なく、特産品販売コーナーも賑わいました。

エネルギー政策課長

きいばすフェスタは1日目2000人、2日目3000人の5000人で目標はクリアした。バッテリーカー、インモーション、ボート漕ぎ体験の人气が高く、今回はきいばすを知っていただくという面に力を注いだ開催でした。

教育長

町外の永平寺町、南越前町、若狭町から体験の申し込みがあった。更に、夏休み中の体験として広める努力をしていく。

町長

来年の第30回美浜・五木マラソンは五木さんご本人のスケジュールを中心に検討したい。又、以降も美浜・五木マラソンの名称は残して継続したいと考えている。

山上、住宅団地は町民でアピールを

問

産業団地、住宅団地の分譲の現状はどのようになっているのか。

美浜創生戦略課長 産業団地分譲第1号のアイケープラストは、6月中旬から操業開始予定で、従業員は24名で町内者は13人である。住宅団地の分譲は1・2期合計57区画の内、分譲済みは11区画である。今後も、分譲促進に努力していく。

嶺南一帯の活性化を模索

問

嶺南一帯の商工業、観光の地域連携をどのように進めていくのか。

町長

観光面では周遊滞在型観光エリア創出プロジェクトを嶺南6市町と越前町、南越前町を加えて検討している。産業面ではエネルギー研究開発拠点化計画に乗って産官学で進めている。自衛隊の配備も6市町連盟で要望している。その他の今後の新幹線、高速道路4車線化等々、共同で進めている。



辻井 雅之 議員

「福井しあわせ元気国体」のボート競技について

問

今度の国体は、美浜町においてボート競技が開催される。ボート

での得点が大いに期待されているが、このための選手強化は行われているのか。国体のボート競技成績は総合得点の大きなウエイトを支えているのは確かだ、これは町としても大変名誉な事である。ボート協会から総会の場でも少年・青年の監督から強化練習の報告もあり、組織として国体の強化を図っていると聞いている。

町長

少年男女の高校選手は県内4校が合同練習や合宿も行っている。青年の部は選手の入替わりもあるが、国体での競技点数の目標を立て強化に取り組んでいる。

美浜創生戦略課長

同練習や合宿も行っている。青年の部は選手の入替わりもあるが、国体での競技点数の目標を立て強化に取り組んでいる。

公衆トイレの洋式化について

問

町内における公衆トイレの状況と美浜駅トイレの洋式化は早急に行うべきではないか。

商工観光課長

現在、町内にある公衆トイレは美浜駅も含め16ヶ所あり、13ヶ所には多目的トイレ(全て洋式トイレ)がある。しかし一般トイレの洋式便器は2箇所しかないのが実態である。駅のトイレの清掃管理は観光協会が行っており、多目的トイレ以外は洋式化されておらず、協会からも要望を聞いている。洋式化の必要性は重々承知しているので今後、公共施設の管理計画と合わせながらしっかりと対処していきたい。

質 問

6月定例会では4人の議員が一般質問に立ち、町行政について、問いただきました。

下水道料金と集落排水施設の周辺環境について

町内の下水道料金は、一般家庭において、その家の世帯人数で徴収しているがこの方法しかないのか。また農業・魚業集落排水施設からの周辺環境への影響はないか。

問 下水道課長

下水道の料金については、上水道の使用量に応じての徴収もあるが、美浜町では各家で井戸水を使用する世帯が多く、井戸水使用の個別メータの取り付けやその維持管理や検針も必要となるため、現行は世帯人数徴収となっている。集落排水施設の周辺環境は、県が調査管理を行い、水質汚濁防止法等の法律で決められた適正判定となっている。

なお、施設は20年以上を経過しているので昨年から機能診断調査も行って機能強化と水質保全を見守っている。



河本 猛 議員

原発の諸問題について

蒸気発生器、いじめ、ミサイル、経済効果の問題について質問

問 蒸気発生器、いじめ、ミサイル、経済効果の問題について質問しました。

原子力規制委員会の「耐震設計に係わる工認審査ガイド」では、耐震設計に係わる新たな規格及び基準など、並びに新たな知見に常に注視し、審査においてそれらが必要に応じて速やかに考慮することと書かれている。

美浜原発3号機と高浜原発1・2号機は40年を超える老朽原発だが、蒸気発生器は、それぞれのような「規格基準」で審査が行われたのか。

エネルギー政策課長 審査ガイドに示している規格及び基準は、それを使う事によって原子力発電所の安全機能が確保できる運用実績があることから、機器等の耐震設計に適用可能なものとして示したものだという規制委員会の回答である。

問 審査で使われた「規格基準」を聞いている。調べてみると、高浜原発は「発電用原子力設備規格」の2005年版という規格を用いている。美浜原発は「原子力発電所耐震設計技術指針」という1984年に作成された規格を用いている。この規格の「評価基準値」は、それぞれどのような値になるのか。

エネルギー政策課長 いずれの規格においても、原子力発電所の安全機能が確保できる運用実績があることから、規格の違いによる安全上の問題はないという回答である。

問 安全上の問題はないといわれるが、私は値について質問をしている。それに答えないので調べてきた値を述べると美浜3号機が539メガパスカル、美浜より先行して工事計画が認可された川内1号機、伊方3号機、高浜1・2号機の「評価基準値」は、全て481メガパスカルで共通している。

「評価基準値」は、蒸気発生器に使われている材質、発生温度が同じであれば同じ値になる。美浜3号機と高浜1・2号機は、材質も発生温度も同じであるのに、なぜ美浜3号機だけが1984年作成の20年も古い規格を用いているのか疑問だ。

美浜3号機の蒸気発生器伝熱管にかかる応力値を計算すると527メガパスカルになるが、高浜1・2号機と同じ2005年版の規格で審査すれば

美浜3号機はどうなるのか。

エネルギー政策課長 比較の違いによる安全上の問題はないという回答である。

問 美浜3号機は不合格になるんですよ。

基準地震動が上がり、審査のハードルが高く厳しくなったことで、2005年版の規格を使ってしまうと審査を通らない事態になってしまった。だから関電は、2005年版の規格より20年も古い規格を持ち出して審査を通したのではないかと。そして、規制委員会も自ら作った審査ガイドに「新たな知見に常に注視し、審査においてそれらが必要に応じて速やかに考慮する」と書いておきながら、古い規格での審査を認めてしまった。

美浜3号機だけが古い規格が適用される「評価基準値」が緩められているのは、安全性向上の面からも全く評価できない。

自ら作成した審査ガイドも守らない規制委員会の審査を町長はどのように思うか。

町長 合理的な新規制基準から特に規制委員会の審査が外れているとは思っていないので、回答はない。

意見 結局、自分たちが何も考えていないように受けとめられる。

これでは安全性の向上すら望めないばかりか、住民の信頼というものは全く得られないと指摘しておく。

質問、返答については質問者の
文責で掲載しています。

【その他】 教職員の過労死・過労自殺について質問し、長時間労働や勤務実態の是正を求めました。



川畑 忠之 議員

「道の駅」の機能を持たせた、美浜町地域づくり拠点化事業について

(1) 美浜町地域づくり拠点化整備計画について

【問】 「道の駅」の機能を持たせた、美浜町地域づくり拠点化事業とはどのようなものか。

【町長】 国交省と町の一体型で「道の駅」の機能を持った施設を美浜駅付近で整備を行うものである。基本計画では、住民が集い、交流し、中心市街地の活性化の拠点となる空間、あるいは産業、特に一次産業や観光地域資源の有効活用が可能な観光情報提供施設

設、または道路利用者の休憩施設となるような機能を持たせた場所として計画している。

(2) 道の駅の設置場所について

【問】 「道の駅」の設置場所について、どのような経緯で美浜駅周辺に設置することになったのか。

【土木建築課長】 昨年度より検討委員会を設置して検討を重ねた結果、美浜駅周辺、若狭美浜インターチェンジ付近、そして久々子湖畔周辺の3カ所が候補地として挙げられた。コンセプト案に沿った町民中心のまちのにぎわいと、地域住民の交流拠点としての関連性等を勘案し、また、今年の1月に実施した町民アンケートの結果により、最終候補地としてJR美浜駅の周辺が「道の駅」に最も適していると判断された。

美浜町エネルギービジョンについて

(1) 25%のCO2削減について

【問】 美浜町では今年3月に美浜町エネルギービジョンを策定した。そのため新たに再生可能エネルギーなどの導入・利用促進によるエネルギー構造転換を図っていくことが急務となった。石油に頼らないエネルギーの安定供給が急務となり、CO2を排

出する石油や天然ガス、石炭といった化石燃料からの脱却が課題となっている。そこで、美浜町においてもエネルギービジョンのCO2排出量を削減することになっているが、具体的にどうするのか。

【町長】 私は、原子力と共生しながら国のエネルギー基本計画に基づいて、再生可能エネルギーを中心とした国のエネルギー構造転換政策を活用したまちづくりが重要であると考えている。

また、国のエネルギー基本計画には、原子力のリプレイスという文言が入っていないが、リプレイスも必要と考えており、その必要性を国に要望し計画に入られれば、以前、関西電力が行っていた立地可能性調査の再開を求めていきたい。

(2) 再生可能エネルギーについて

【問】 エネルギービジョンの小水力発電、風力発電、バイオマス発電、太陽光発電などは実現可能なのか。

【エネルギー政策課長】 実現可能性については、本年実施するエネルギービジョン事業化計画の中で、詳細な研究・検討を進める。

(3) 小水力発電について

【問】 耳川を使った、パイプラインによる水力発電所はできないか。

【エネルギー政策課長】 水量と落差がある箇所においては、小水力発電は可能であると考えている。

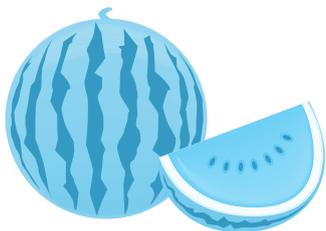
「福井しあわせ元気」国体・障害者スポーツ大会について

(1) 西郷健康広場整備について

【問】 西郷健康広場屋内競技場において、国体の障害者スポーツ大会の会場となるが、障害者のためのおもてなしができるか。

【町長】 障害者スポーツ大会は、最大の配慮をしながら不備がないような対応をしながらはならないと思っている。

【教育政策課長】 西郷健康広場の屋内競技場については、全面バリアフリーの施設であるので、車椅子の方が競技する場合でも、特段の支障なく利用できる優しい競技場になっているので、きめ細やかなおもてなしが出来ると思っっている。



全員協議会

〔4月21日開催〕

(1)レイクヒルズ美方病院について

同病院の経営については、平成27年末から経営改善・改革検討委員会を立ち上げ協議・取り組みが行われてきました。院長はじめ関係者の懸命な努力によって経営されてきましたが、未だに明るい兆しが見えていません。病院の事務長から直近の状況・今後の方向性についての報告があり、協議が行われました。

《見直し策》

病床を58床に縮小し、人員も削減して、通所リハビリ+検診センターを軸に構想を練り上げ協議していく予定であった。

《実 態》

県の「地域医療構想」、厚労省の「療養病床の再編」等の動きがあり、大幅な規制が出され、療養病床の存続が危ぶまれ、運営の継続が困難な状況となってきた。

当病院には「在宅復帰困難者」や「施設入所長期待機者」が、多数療養しており、病床を縮小すれば患者の「受け

皿」を考えなければならぬ。厚労省の療養病床再編案の詳細を確認することや介護事業における平成30年度以降の計画との整合性を含め、いまだ結論に至っていない。

《今後について》

新たな施設類型が「介護医療院」となるが、施設基準等の詳細は平成29年度末でないと明らかにならない。本年度は現状の体制を維持しながら経営改善に向けた取り組み、平成30年度以降に転換等に向けた検討を開始する。

《報告を受けて》

今後に多くの課題を抱えています。が、美浜・若狭両町の地域医療を確保するために、入院機能を持つ病院は必要です。議会としても医療体制の充実・強化に向けた努力、取り組みを重視しています。

(2)認知症対策(介護予防強化)について

重度化を予防しながらいつまでも住み慣れた地域で暮らし続けるために、『地域で支える』在宅医療・介護連携推進の取り組みについて、町からの説明がありました。(兵庫記)

〔5月26日開催〕

(1)新たな美浜町農業委員の募集選考結果について

平成28年4月1日施行で農業委員会の法の改正が行われたことにより、委員の選出方法が「選挙制と市町村の選任制の併用」から「市町村長の任命制」に変更されています。

今回、任期満了となる農業委員の任命候補者11名が発表されました。

(※2ページ参照)

(2)地方創生推進交付金について

「美し美浜人育成推進プロジェクト」というタイトルで地方創生推進事業を行います。予算額は2456万7千円です。

その内容は

- 1・地域ブランディングの旗振り事業
- ・地域ブランディングサイトの構築
- ・アウトドア・ボート情報発信のサポート
- ・プロブローガーによる情報拡散
- ・移住・定住・見学ツアーなど
- 2・農水産業の旗振り事業
- ・アウトドアコーチの誘致(体験型観光)
- ・新規就農者の獲得
- ・発酵熟成ブランドの推進など

- 3・観光の旗振り事業
- ・おもてなし誘客ツールの作成
- ・ボートコーチの誘致など
- 4・教育の旗振り事業
- ・台湾・新北市石門区との交流
- ・トップセールスなど

(3)エネルギー構造高度化・転換理解促進事業について

エネルギー環境教育体験館「きいばす」に追尾式太陽光発電施設を設置しこれを活用した本町のモデル施設として地域住民の再生可能エネルギー理解促進につなげるとしています。

概要は

- ・追尾式太陽光発電設備50kw×2基
 - ・予算額：9695万円
 - ・年間発電量：14万3000kwh
 - ・(電力料金相当額：240万円)
- また、太陽光発電事業検討調査事業として2094万5千円の予算を計上しています。

(4)レイクセンターについて

- 現状と課題についての説明がありました。
- 1・現時点で旧船会社の遊覧船を譲渡できず、事業を継承する事業主体が決まっていない。
 - 2・新たな民間会社設立にも多額の資

- 金が必要。
- 3・町内業者または団体が継続可能で適正な遊覧船事業の運営をするには、事業・広報・人事・労務計画・営業等経営の専門家の導入が必要。

- 4・遊覧船事業の再開について、事業主体がしつかりとした持続可能な形で経営する必要があるため、経営体制を整える上においても時間を要する。

以上のことから遊覧船事業を夏までに再開することは困難であり、レーク



現在のレークセンター

センターの運営、指定管理の継続も困難になると思われます。(竹仲記)

【6月19日開催】

(1)興道寺廃寺の調査・保存・活用について

平成14年から調査が始まり平成26年から16回にわたり発掘が行われました。その結果、遺跡として大変重要な価値が有ることが分かり国指定の準備を進めています。

興道寺廃寺の場所は約1万1400㎡の敷地に寺院が建立される前、6世紀ごろ豪族居館とみられる大規模な建物跡が寺院地で発見されています。古墳時代の豪族の地域開発と古墳造影、寺院の建立、寺院の再建へと同一地域での数百年におよぶ豪族(耳別氏)の歴史、痕跡をたどることができます。

歴史的価値のある興道寺廃寺の遺跡発掘場所を国史跡として指定を受けるため平成30年度を目標に努力するとしています。

国指定を受けることによるメリットは、美浜町初めての国史跡となり地域の誇りとなることです。

また、保存活用に関する事業に対して、文化庁補助事業として実施が可能になります。(竹仲記)



興道寺廃寺復元イラスト図

原子力発電所 特別委員会

6月9日、委員会を開催しました。

(1)もんじゅの廃炉に係る実施体制について

文部科学省、もんじゅ廃止措置対策監から「もんじゅ」の廃炉にかかる実施体制について説明を受けました。

委員からは「廃止措置チームをもっと早く立ち上げるべきではなかったのか」、「ヒューマンエラーが多く、事故が起こらないよう徹底できるのか」など、廃炉工事への不安の質疑が相次ぎました。

文部科学省からは、「電力メーカーからの廃炉作業の専門知識を持つ管理職が実務クラスを投入し、安全確認の取り組みを徹底し、しっかりと原子力機構を指導していきたい」との回答がありました。

また、もんじゅサイトに試験研究炉を建設するという計画については、これから検討し、委託調査の中で地元の見解を取り入れていくように考えているとのこと。

(2)美浜発電所の現況等について

関西電力から美浜1、2号機の廃止措置計画の認可、美浜3号機の安全性向上対策工事計画、高浜発電所の再稼働の状況等の説明を受けました。

委員から、作業員の被ばく対策、工事車両の交通安全対策や中間貯蔵施設の進捗状況などの質疑がありました。

関西電力から、作業員の被ばくや交通安全に対する安全対策にはしっかりと取り組んでいきたいとの回答がありました。(崎元記)

現地視察研修

○東小学校に放射線防護施設を設置

東小学校は、体育館内に放射線防護対策のための「エアータント」を整備しました。常時はステージの下に収納しています。

要支援者のためのスロープを設置し、バリアフリーになっています。「エアータント」内には住民や防災業務従事者など171名が入れます。



東小学校体育館内のエアータント内

○海の駅(千鳥苑)がリニューアル

海の駅(千鳥苑)は、地域経済循環創造事業交付金を活用し、民間施設の観光拠点としてリニューアルしました。館内のバリアフリー化、洋式トイレの導入、情報発信用の大型ディスプレイなどが設置されました。

夏には、若狭湾を満喫できる海産物を中心とした浜焼きバーベキュー施設やビアガーデンテラスの運営が開始される予定です。

○歴史ロマンを感じる興道寺廃寺

興道寺廃寺は、耳川流域を拠点とした豪族が7世紀後半ごろに建立した寺院です。耳川流域には集落遺跡や墳墓があり、歴史ロマンあふれる環境にあります。興道寺廃寺の保存活用は、町の歴史文化の研究・発展につながるものだと思います。

○農業生産性の向上に期待!

大型園芸ハウス

大型園芸ハウス(無量大)は、水稻農業に頼りすぎない複合型農業を



大型園芸ハウス(無量大)

現するための「いきいき農業サポートプラン」に基づく支援事業です。電子制御による栽培設備や周辺機器、栽培システムなどを学ぶことが出来ました。7月から中玉トマト苗の植え付けが開始される予定です。植栽本数約8千株、年間9万kgの収穫を目標にしています。

○農村の発展と活力に満ちた

「みんなの茶の間」

みんなの茶の間「八三六」は、農村の総合的な振興、地域農業の健全

な発展とともに、活力と個性に満ちた地域づくりを目的として、三ヶ地区農村食堂推進協議会が主体となつて事業を行っています。「夕食を1人で食べるより大勢で食べよう」と孤食をなくすための取り組みを行い、「子ども食堂」の実施も考えられています。また、自家製農産物の栽培に関する取り組みなど、様々なプロジェクトが検討されています。

(河本記)



みんなの茶の間「八三六」

敦賀・美方消防組合議会

平成29年度 全国統一防火標語

火の用心 いっしょに 習慣に

敦賀美方消防組合恒例の消防大会が快晴の5月28日、開催されました。

まず敦賀松原公園内の殉職者慰霊碑に献花を捧げ、殉職者の安穩を祈りました。「庄の川」河川敷の



一斉放水



分列行進

一斉放水は40mのはしご車からの放水も有り、消火機能の向上が見られました。

続いて相生町道路で分列行進が行われ、消防団員並びに消防車の整然とした行進が行われました。その後整列して、管理者の観閲を受けました。

最後はきらめきみなと館で消防隊員、消防団員の永年勤続表彰式が行われ、対象者に授与されました。

(浜野記)

小浜病院組合議会

○副議長に福谷洋氏

第2回公立小浜病院組合議会が5月26日に召集され、若狭町議の「福谷洋」氏が当組合議会の副議長に決定しました。

また、福井県市町総合事務組合規約に若狭広域行政事務組合の追加議案についても承認されました。

○新公立病院改革プランについて

新公立病院改革プランの内「レイクヒルズ美方病院」については、経営悪化の状況下で平成27年12月に「経営改革・改善検討委員会」を立上げ、抜本の見直しについて検討を進めています。しかし、経営改革に対する結論を国や県から求められており、厳しい経営状態にあると報告を受けました。

「レイクヒルズ美方病院」を地域に於ける基幹的な公的医療機関として存続させ、地域医療の重要な役割を果たしていただきたいと考えます。

(梅津記)

道路整備促進期成同盟会

○平成28年度事業報告及び収支決算 原子力災害制圧道路について

5月8日、県道佐田竹波敦賀線・竹波立石縄間線道路整備促進期成同盟会の平成29年度総会が行われました。

平成28年度の事業報告及び収支決算、役員改選、また、今年度の事業計画と予算、更に負担金の徴収(決算において繰越金増加の為、負担金をの徴収を休止する)についての議案が審議され、事務局の原案通り全可決承認されました。

また、県敦賀土木事務所長から原子力災害制圧道路「立石～明神町間」、「白木～浦底間」、「佐田～竹波間」のトンネル工事状況も含めた周回道路の説明がありました。美浜町議員理事からも現況工事の要望等が提示されました。

一刻も早く予定通りの敦賀半島周回道路の完成に期待します。

(辻井記)

平成29年6月27日から28日まで、北海道芽室町と富良野自然塾を視察しました。

北海道芽室町議会の 議会改革・活性化の取組み

芽室町は、北海道東部の十勝平野に位置しており、人口は約2万人弱、ゲートボール発祥の地でもあります。

芽室町議会では、平成23年から議会改革・活性化策の検討を重ね、平成25年に議会基本条例を制定(当町は平成28年3月制定)。その後、通年議会※1を導入したことにより、昨年は本会議、臨時会、各常任委員会を合わせると約150回の会議が開催されています。

議会改革・活性化のため、議会サポーター制を導入し、必要に応じて専門家や学識経験者の支援を得ながら行っています。あわせて一般住民からは、議会モニターとして20人を委嘱し、議会運営はもとより、まちづくり・政策面についても意見・提言などを幅広く聴取しています。

さらに、全会議のインターネット中継・録画配信のほか、議員全員にタブレット型端末を導入し、ペーパーレス化に取り組んでいます。この

取り組みは、情報伝達が早く、情報量も多く扱えることと議員間での情報共有がしやすく、町民からの質問にも、その場で調べ説明ができるということです。

美浜町議会でも、先進地の取り組みを参考にしながら、できることから議会改革を行い、魅力ある議会、より開かれた議会をめざし、自己研鑽を図り、議員の資質の向上に努めてまいります。



北海道芽室議会を視察

※1「通年議会」年間4回開催する定例会及び臨時に開催する臨時会がなく、年間を通して議会が開催されていること。

芽室町の人口増加に 繋がった定住対策

芽室町は、昭和48年から平成10年にかけて、約200haにおよぶ大規模な工業団地の開発を行っております。企業誘致に際して企業への恩典は、5年間固定資産税の免除。食に関した企業についてはさらに5年間延長されるということで、乳製品メーカー等食品会社の企業が多く立地しています。

また、平成7年から21年にかけて、約1200区画の住宅地の開発を行い、人口は順調に右肩上がり増加してきましたが、近年の人口減少は止められないということです。少しでも人口の自然減少を抑えようと新たな定住対策を行っていますが、どの町も似かよっているという感がありました。しかし、企業団地や住宅団地の開発を早期に思い切って町が行うことによって、他の町よりも一歩リードしていると強く感じました。

富良野自然塾

北海道富良野は、脚本家倉本聰のテレビドラマ「北の国から」で有名になったことは誰もが知るところです。

富良野自然塾は、平成17年、ゴルフ場の閉鎖に伴い、跡地を植樹し、

元の森に再生しようと活動を始めた。また、森林再生の場所に「地球」・「五感」をキーワードにしたプログラムを通して、地球環境と人間の生き方を見つめ直してもらおう環境教育活動を行っています。

私たちは、プログラムの中で、「46億年・地球の道」を歩きながら体験しました。地球が出来て、現在までの環境の変化が分かるようになっており、地球の環境が、人類登場後のほんのわずかな時間によって大きく変わっていることを実感しました。(松田記)



富良野自然塾

平成 29 年度 「議会と語ろう会」のお知らせ

開かれた議会、そして町民のみなさまに信頼される議会を目指し、「議会と語ろう会」を開催いたします。

「議会と語ろう会」は、議会活動についてご報告させていただくとともに、議会や町政についてみなさまと意見を交換するために開催しています。

ぜひご参加ください。

町民のみなさまの
ざっくばらんなご意見を
お聞かせください！



内容

テーマ 美浜町の観光について

美浜町観光振興計画について

三方五湖ゾーン・敦賀半島西海岸ゾーン・新庄山里ゾーン
ヒストリーゾーン(若狭国古城歴史資料館、美浜町歴史文化館、興道寺廃寺)

開催日	会場	対象地区
7/31 (月)	竹波防災センター	東地区①(丹生、竹波、菅浜、北田、けやき台)
	佐田公民館	東地区②(佐田、山上、太田、坂尻)
	役場3階 議会委員会室	耳地区①(新庄、雲谷、野口、佐野、上野、興道寺、寄戸、安江、五十谷)
10月末 予定	はあとぴあ	耳地区②(河原市、南市、和田、木野、佐柿、麻生、中寺、宮代、小倉、栄)
	西公民館	南西郷地区(気山、大藪、金山、久保、郷市、松原、久々子)
	北公民館	北西郷地区(早瀬、笹田、日向)

知 っ 得 議 会

シリーズ⑤

「請願・陳情とは」

みなさんが町政に関することで、町議会に直接要望や意見がある時に活用できる制度が「請願」及び「陳情」です。

【請願】

受理した場合は、本会議で議題とし、所管の常任委員会等に審査を付託します。その後委員会等で内容を十分に審査し、採決を行い、採択した請願は、関係機関へ意見書等を提出します。

【陳情】

受理した場合は、議会運営委員会等で趣旨の検討を行い、対応について協議します。

☆ 請願と陳情の違い

「請願」と「陳情」の大きな相違点としては、請願のみ提出に当たって議員の紹介が必要となります。
(事務局記)

9月議会は、9月5日から21日までの17日間の予定です。

小学校体育大会

中央小学校 体育大会

6月3日、「勇気をもって勝利をつかもう!」のスローガンのもと美浜中央小学校体育大会が129名全員参加して盛大に開催されました。

この大会に向けて行った練習の成果を力強く発表してくれた素晴らしい大会でした。(藤本記)



東小学校 体育大会



6月10日、晴天のもと、東小学校の体育祭が開催されました。

児童たちは、日ごろの練習の成果を力いっぱい出して競技していました。応援合戦では、大きな声でチームワークを結集した姿を見せてくれました。(浜野記)

西小学校 体育大会

こどもたちが頑張る姿というのは、いつ見てもかわいいですね。高学年のしっかりした大会運営にも感心させられます。1人ひとりの頑張りが大きな成長に結びついていると思います。こどもたちの笑顔や頑張りは地域の宝ですね。(河本記)



編集後記

日本の社会には、広報誌やその類のものが氾濫しています。私が区長をさせて頂いている時、ある区の区長さんが区長会で「配り物が多すぎる。もっと集約するなどして減らしてください。」と、発言されていましたが、それぞれの意味や価値がありますので、なかなか集約はできないかと思えます。

私たちの「議会だより」も、配っていたり、ただの方々のご苦労や読む人の立場などを考え、より一層読みやすくわかりやすい、充実した紙面になるよう努力してまいります。(兵庫記)

美浜町議会広報特別委員会

- 【委員長】 野瀬 雅己
- 【副委員長】 河本 猛
- 【委員】 辻 健一郎
- 兵庫 賢一
- 竹仲 良廣
- 山口 和治

【表紙の説明】 文化財シリーズ③

- 町指定文化財「釈迦十六善神像」
日向 長久寺(南北朝〜平安時代)
- 県指定文化財「地蔵菩薩立像」
大藪 久昌寺
- 金火箸でやけどを負った下女の身代わり、地蔵に焼けた跡があったので、「金焼け地蔵」ともいう。